

二次側取付仕様 パルスブローユニット PAUS シリーズ

仕様

項目	形式	PAUS
使用流体		空気
使用圧力範囲	MPa	0.35 ~ 0.7
パルス周波数	Hz	10 ± 5 (0.5MPa 印加時) 注1
使用温度範囲	℃	5 ~ 50
材質		アルミ合金
質量	g	48
配管接続口径	IN ポート	G1/8
	OUT ポート	G1/8

注1：周波数の調整はできません。0.5MPa 印加時に発生する周波数になります。詳細は裏面の圧力に対する周波数特性を参照ください。

2：使用される空気は、油分、固形物などを含まない清浄空気を使用してください。ドレンやゴミなどがパルスブローユニットの中に入ると作動不良の原因となります。

3：本製品は内部にグリースを使用しています。

注文記号

●本体

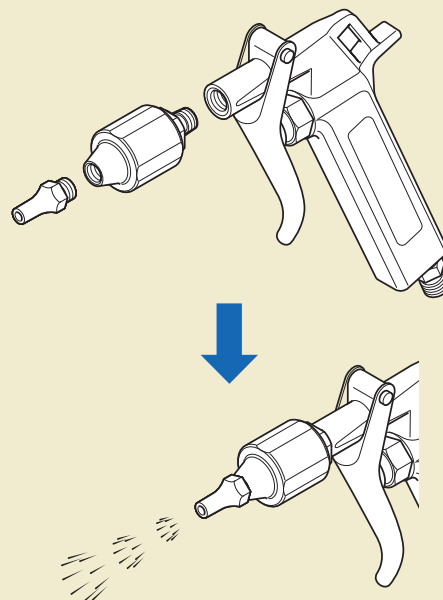
PAUS

二次側取付
S: 二次側取付仕様



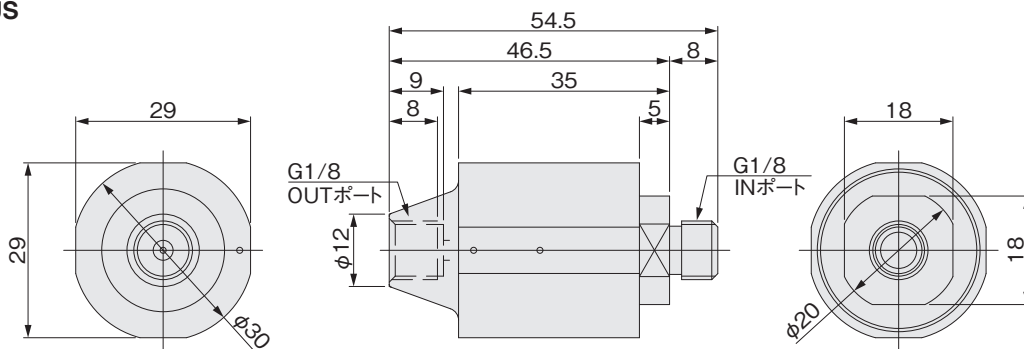
使用例

- エアブローガンのノズル先端との間にパルスブローユニットを取付けます。



寸法図 (mm)

● PAUS



お客様技術相談窓口
フリーダイヤル
0120-44-0944

受付時間 9:00~12:00/13:00~17:30
(土日、休日、年末年始を除く)
お気軽にお問い合わせください。

●このカタログは2024年2月現在のものです。

●記載されている仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。最新の情報は当社ホームページ等でご確認ください。



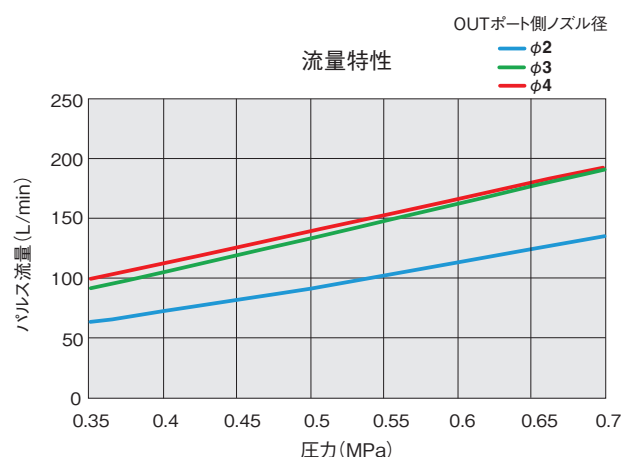
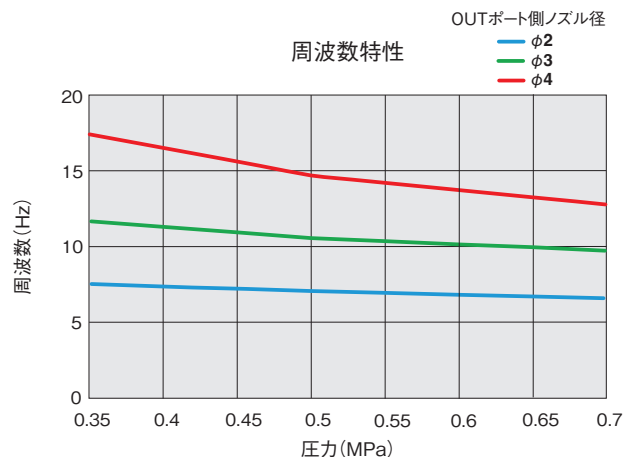
株式会社コガネイ

□本社 □営業本部 □海外営業グループ
184-8533 東京都小金井市緑町 3-11-28

□技術サービスセンター TEL (042) 383-7172

URL <http://www.koganei.co.jp>

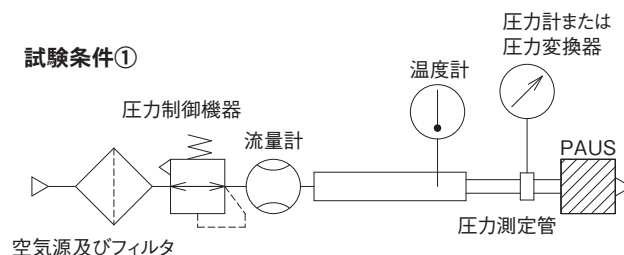
圧力に対する周波数特性及び流量特性



注 1：当社試験条件①による。

2：配管条件や使用するノズルにより周波数特性と流量特性は異なります。

試験条件①



パルスブローユニット 配管条件による作動について

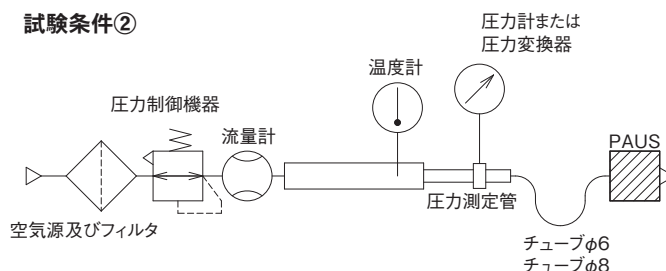
INポート側の配管条件により作動が不安定になる場合があります。下表をご参照ください。

ノズル径	使用圧力	チューブφ6			チューブφ8		
		1000mm	3000mm	5000mm	1000mm	3000mm	5000mm
φ2	0.35MPa	○	○	○	○	○	○
	0.5MPa	○	○	○	○	○	○
	0.7MPa	○	○	○	○	○	○
φ3	0.35MPa	○	○	○	○	○	○
	0.5MPa	○	○	○	○	○	○
	0.7MPa	○	○	○	○	○	○
φ4	0.35MPa	×	×	×	○	×	×
	0.5MPa	○	×	×	○	○	○
	0.7MPa	○	○	○	○	○	○

注 1：○：作動安定 ×：作動不安定（当社試験条件②による）

2：配管条件により圧力降下、流量不足が生じた場合、作動が不安定になります。

試験条件②



取扱い注意事項

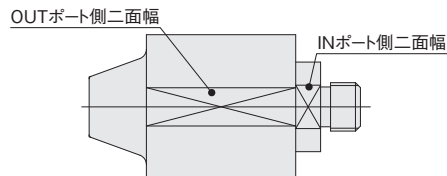
警告

- 出力ポートは人に向けないでください。
- エアブローにより飛散物が目に入ること、また騒音・振動による健康被害の可能性があるため保護メガネと耳栓を着用してください。
- 万一漏れが発生した場合や破損時の安全確保のため、供給側に遮断弁を設置してください。

注意

- 油分、固形物が混入した空気は使用できません。供給流体には清浄空気（ろ過度40μm以下のフィルタを使用のこ）を使用してください。本製品内にドレンやゴミなどが入ると作動不良の原因となります。
- 供給流体は、製品のブローによって結露・結霜が発生しないように、冷凍式エアドライヤ・アフタークーラなどを介して、露点温度を周囲雰囲気よりも低くしてください。
- 本製品は圧力のバランスで作動するため、パルス作動が安定するよう十分な圧力と流量を供給してください。
- 本製品と連結するエアブローガンまたはノズルは、1対1を推奨します。
- 本製品はエアブローガン及びノズルとの直付けを推奨します。

- 配管作業はINポートへの配管時「INポート側二面幅」、OUTポートへの配管時「OUTポート側二面幅」をスパナ等で押さえ、下記推奨締め付けトルク範囲で締め込んでください。異なる二面幅を使用しての配管作業を行うと、製品を破損する可能性があります。



推奨締め付けトルク	N・m	PAUS
		4.5～6.5

- 静電気除去装置の2次側へは取付けないでください。エアブローによる除電機能が著しく低下します。
- 塵埃の多い場所や、飛散する場所に放置すると内部へ侵入し、作動不良の原因となる可能性があります。
- 製品を落としたり、踏みつけたり、ぶつけたりしないでください。破損の原因になります。
- チューブを使用する場合、チューブは外面にキズの無いものを使用してください。また、極端に曲げたりこじったりしないでください。エア漏れの原因になります。



注意

※ご使用になる前に総合カタログ・ホームページの「安全上のご注意」を必ずお読みください。